

大垣青年会議所 最重点ビジョン

「郷土への誇りが持続可能な西美濃を創る」

【事業期間】

2026年～2028年（3年）

【事業内容】

（1）郷土への誇りの醸成に向けた取り組み

【事業内容の背景】

まちのこえアンケート及び西濃県事務所、株式会社OKB総研のヒアリング結果を踏まえ、「郷土への誇りの醸成に向けた取り組み」が必要であることを会員と共有し、事業期間3年（1）の事業を重点的に取り組みます。

【経緯】

第2回最重点事業全体会議にて多くのご意見を頂き、ポイントを絞りすぎることなく、各重点的な内容を1つに取りまとめ、分かりやすく、地域みらいビジョンに沿った文言に修正しました。

西美濃地域は、豊かな自然、歴史ある文化、世界に通用する産業など、多様な魅力と可能性を備えた地域です。

しかし、現代は、SNSやインターネットを通じて、知らない世界とつながる情報が多い一方で、「自分の足元」にある地域社会や文化に注目する機会が少なくなっています。時代の流れのなかで、地域への誇りやつながりが、少しづつ薄れているのではないかでしょうか。

「この町が好きだ」「この土地で生きていきたい」――

そんな想いが、未来の西美濃を支えには必要です。

このビジョン「郷土への誇りが持続可能な西美濃を創る」は、この地を愛し、次世代へ誇りを持って手渡していくける未来を築くための宣言です。

その根底には、「郷土愛」があります。

郷土愛とは、この土地に暮らす中で芽生える親しみや安心感、懐かしさのような感情です。

春に堤防を彩る桜並木、地元の賑やかな祭り、川を流れる灯、田んぼで揺れる稻穂、養老山脈にかかる雪化粧、そんな日々の風景や人々とのつながりが、私たちの心にそっと根を張っています。

しかし、私たちが目指すのは、それだけではありません。

郷土愛がさらに深まり、自分の生きる場所に価値と誇りを見出せたとき、それは「郷土への誇り」へと昇華します。

ただ「好き」という気持ちから、「この場所を守りたい」「伝えたい」「もっと良くしたい」という能動的な想いへと変わるととき、私たちは地域の未来に責任を持ち、行動する力を手にします。

そのために、私たちは地域の歴史や文化を学び直し、語り合い、体験し、そして伝える機会をつくっていきます。子どもたちが地元の魅力に出会い、大人たちが地域に再び目を向け、年齢や立場を越えて西美濃への愛着を育めるような取り組みを重ねていきます。

郷土への誇りは、日々の暮らしの中に、心の根っこに育っていくものです。だからこそ、私たちはこの土地の「良さ」に気づき、「誇り」に変えるきっかけを、ひとつひとつ丁寧につくっていきたいと考えています。

西美濃が持つ本来の輝きを、みんなの手で未来へつなぐために。

このビジョンには、そんな願いと覚悟が込められています。